

岡山大学病院ますかっと病児保育ルーム Newsletter

vol.15 (2024.5)



令和6年4月からの定期予防接種の変更をお知らせします。
予防接種とは、病気に対する免疫をつけたり、免疫を強くするために、ワクチンを接種することをいいます。病気の予防や人に感染させてしまうことで社会に病気が蔓延してしまうことを防ぐ役割があります。

◆ 5種混合ワクチン(4種混合+Hibワクチン)：商品名「ゴービック」
現在定期接種として実施されている4種混合ワクチン(ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ)とHib(ヘモフィルスインフルエンザ菌b型)が一緒になったものです。
*3月までに4種混合ワクチン、Hibワクチンを受けたお子さまは、4月以降もそのまま4種混合ワクチンを受けることになります。



◆ 予防できる感染症

ジフテリア

主に気道の分泌物によってうつり、のどなどに感染し、毒素を放出します。この毒素が心臓の筋肉や神経に作用することで、眼球や横隔膜などのマヒ、心不全をおこすことがあります。

百日咳

激しい咳がでることがあり、乳幼児では呼吸ができなくなり、窒息や肺炎など合併症が致命的になることがあります。

破傷風

主に傷口に菌が入り込んで感染し、毒素を通して様々な神経に作用します。

ポリオ

主に感染した人の便を介してうつり、手足の筋肉や呼吸筋に作用し麻痺を生じることがあります。

Hib感染症

主に気道の分泌物により感染をおこし、保菌者も多くいますが、何らかのきっかけで肺炎、敗血症、髄膜炎、化膿性の関節炎などを引き起こすことがあります。

◆ 肺炎球菌ワクチン「バクニューバンス®」
小児の肺炎球菌ワクチンは今までは「プレベナー®」のみで13種類の肺炎球菌をカバーしていましたが、さらに2種類カバーできる15価ワクチンです。

◆ 予防できる感染症

肺炎球菌

主に気道の分泌物に含まれ、唾液などを通じて飛沫感染します。この菌は肺炎、中耳炎、副鼻腔炎、敗血症などの重い合併症をおこすことがあります。

- ❁ 当日は朝から、お子さまの状態をよく観察し、普段と変わったところのないことを確認しましょう。
- ❁ 体調が悪と思ったら、かかりつけ医に相談の上、接種するかどうか判断するようにしましょう。
- ❁ 予防接種のタイミングは感染症にかかりやすい年齢をもとに決められています。親子手帳を確認し接種のし忘れのないように注意しましょう。
- ❁ 日頃からうがい、手洗い、マスクの着用といった基本的な感染対策を行うことが大切です。



利用定員、開設時間等

- 利用定員 6人
- 対象児童 生後6か月から小学校6年生まで
- 利用時間 月曜～金曜日 午前8時00分～午後5時30分まで

お問い合わせ

岡山市北区鹿田町2-5-1 歯学部棟3階
ますかっと病児保育ルーム
TEL 086-235-7301



ホームページはこちら